

星鹿町の地域おこしについて

星鹿小学校

・横山 湊音 議員
・入口 翔月 議員



▲横山湊音 議員

▼入口翔月 議員



【質問】横山議員

松浦市には、歴史について見学できる資料館がありません。星鹿の農業・漁業について歴史を調べたり、昔の道具を見学したりといった学習に使える資料館が身近にあると、地域の歴史にもっと興味をもって調べることができそうです。地域の歴史が未来に残る資料館づくりの計画は、実現できないのでしょうか。

【答弁】文化財課長

郷土の歴史や農業・漁業など昔の人々が暮らしの中で使ってきた道具などの民俗の資料は、鷹島にある埋蔵文化財センター、福島の歴史民俗資料館、調川の民俗資料館で展示・保管を行っています。

新たな計画については、国史跡鷹島神崎遺跡の資料を中心に展示・公開する施設の整備を行うことを目指しています。その施設の中では、市内の歴史や松浦党についても学習ができるように検討しています。このように、大きな計画があるため、町ごとに資料館をつくることは難しい状況です。

【答弁】教育長

星鹿小学校の皆さんが、ふるさと星鹿の歴史をしつかり学びたいと思うことはとても大切なことです。

星鹿半島全体が生きた歴史資料館であると考えてもできます。実際に星鹿半島を散策しながら、農業・漁業の昔の道具が保管されている場所を探したり、農業や漁業に従事されていた方の話を聞いたりすることもできる

と考えます。教育委員会としましては、児童の皆さんが星鹿半島をフィールドとした地域学習に取り組むことを願っています。

【質問】入口議員

最近、星鹿地区に公園が整備され、子供たちが集まってきています。しかし、公園は星鹿町に一つしかなく、その公園が遠くて遊びに行けない子供たちもいます。他の地区にも公園がないのでしょうか。

【答弁】市長

今回の遊具については、皆さんの健やかな成長を願い、地区の方々が設置のための費用を負担されて、実現したと聞いています。

星鹿の他の地区にも、児童遊園をつくるということは難しいですが、公園は市民の生活にゆとりや潤いを与え、暮らしやすいまちづくりを進めていく上では、欠かすことのできない大切な施設ですので、星鹿地域全体のまちづくりを考える中で、どのような対応ができるか、今後検討します。

【質問】入口議員

星鹿町は、海や山に囲まれた自然豊かな町です。しかし、

年々イノシシが増えて農作物の被害が後を絶ちません。さらに、登校中には、イノシシが児童にぶつかる事故が発生しました。安全な町にするために改善策はないのでしょうか。

【答弁】農林課長

イノシシによる農作物被害への対策としては、地元の猟友会の皆さんと協力し、イノシシの捕獲に取り組んでいます。

また、防護柵等の設置の支援や人とイノシシの棲み分けをする3対策を進めており、農作物への被害は減少傾向にあります。しかしながら、近年、イノシシが市街地等に出没して問題となっており、主な原因は次の3点が考えられています。

- ① 手入れの行き届いていない草地や、河川の草地や藪は、イノシシの移動ルートや餌場、隠れ家となっている場合があります。
- ② 狩猟や捕獲の際に、犬などによつて追い出しを行うと、興奮したイノシシは市街地に出没することがあります。
- ③ 廃棄作物、放置作物、生ごみ、ドックフード、墓地のお供え物、市街地にある栗や柿の木などは、

▼今村圭紀 議員



▲阿部優亜 議員

志佐小学校
・阿部 優亜^{ゆうあ} 議員
・今村 圭紀^{かのり} 議員

松浦市の特産品を使った
「青のまち」づくりについて

イノシシに対する餌付けとなっ
ています。
このような出没の原因を一つ
ひとつ取り除いていくことで、
人身事故の発生を事前に防止す
ることができそうですが、市街地や
登校中などでイノシシに出会っ
た場合には、安全な場所へ避難
していただきたいと思います。

【質問】阿部議員

私たちはおいしい魚や新鮮な
野菜を食べていますが、松浦市
の特産物の種類と売上高につい
て教えてください。

【答弁】農林課長

松浦市の主な農産物の種類と
しては、子牛、米、葉たばこ、
アスパラガス、ブロッコリー、
ぶどう、スナップエンドウ、み
かん、メロン、お茶などがあり
ます。

昨年度の販売実績については、
繁殖牛が10億円、米が3億円、
葉たばこが1億9千万円、アス
パラガスが1億7千万円、ブ
ロッコリーが1億円、ぶどうが
4千6百万円、スナップエンド
ウが4千4百万円、みかんが4千
万円、メロンが4千万円、お茶が
1千万円となっています。

【答弁】水産課長

水産物の特産品は、アジ、サ
バ、養殖トラフグ、クロマゴロ、
クルマエビなど、多くの種類が
ありますが、中でもアジと養殖ト
ラフグの生産量は、近年松浦市
が全国1位を誇っています。

平成30年度の高産高は、アジ
が38億円、サバが45億円、養殖

トラフグが8億5千万円、養殖
クルマエビが2億7千万円となっ
ています。

【質問】阿部議員

松浦市は海に面していて、魚
釣りに適した場所が多いように
感じます。そこで、松浦市内の
釣りに適した場所と、釣れる魚
の種類を教えてください。

【答弁】水産課長

小学生の皆さんが釣りをする
場所としては、まず足元が安全
で、魚が多く住んでいる場所が
適しており、具体的には港の防
波堤や岸壁などが比較的安全で
釣りやすいと考えられ、志佐町
内では黒潮港などがあげられま
す。釣れる魚の種類については、
夏から秋にかけてサビキ釣りに
よるアジゴや、投げ釣りによる
キス、また海底に岩や石などが
多い場所ではアラカブなどが手
軽に釣ることができます。さら
に上手な人はチヌやミズイカな
どの大物を釣ることもできます。

【質問】今村議員

特産物がたくさんあり、魚釣
りに適した場所がたくさんある
松浦ですが、人が減っている寂し
いニューズや空き家があること

が気にかかっています。

空き家は、どんな場所に、何
件くらいありますか。また、そ
の空き家の活用はありますか。

【答弁】都市計画課長

市内の空き家は、平成27年度
の実態調査によれば、多い方か
ら順に、志佐町493戸、今福
町239戸、御厨町202戸、
福島町183戸、調川町157
戸、星鹿町92戸、鷹島町91戸、合
計1,457戸となっています。

空き家の活用については、空
き家を登録し希望者に紹介する
「空き家バンク制度」を平成29年
度から実施しており、これまで
に15戸の登録がありました。そ
のうち10戸が住宅として、1戸
が店舗として活用されており、
残り1戸は現在も利用者を募集
しています。

【質問】今村議員

私たちは、この空き家を使って、
松浦でしかとれない物や、松浦で
しか食べられない物を使った料理
をレストランで出したいと思っ
ています。人が集まるレストランや
カフェを、空き家を利用して作り、
松浦の海でとれる新鮮な魚を、市
外から来た人たちにも味わってほ